



平成 28 年 4 月 5 日

各 位

会 社 名 株式会社 新日本科学
代表者名 代表取締役会長兼社長 永田 良一
(コード番号：2395 東証第一部)
問合せ先 代表取締役副社長 関 利彦
(TEL：03-5565-6216)

**再生医療分野における株式会社リジェネシスサイエンスとの業務提携
ならびに同社への出資に関するお知らせ**

株式会社新日本科学「本社：東京都中央区、代表取締役会長兼社長：永田良一、以下（新日本科学）」は、株式会社リジェネシスサイエンス「本社：福岡県福岡市、代表取締役社長：矢永博子、以下（RGS）」との間で、業務提携契約を締結しました。併せて、新日本科学は、平成 28 年 3 月 31 日付で RGS に投資「(総額 500 万円 (普通株式 85 万円、優先株式：415 万円)、議決権割合：14.5% (持株割合 50%)」いたしました。

RGS は、再生医療の細胞加工施設と医療機関への橋渡しを担うことで、再生医療を社会に普及させることを目的として、平成 26 年 7 月に設立された法人です。同社は、再生医療に関する優れた特許技術「軟骨細胞培養方法 (登録済)、移植用軟骨の細胞の製法 (登録済)、無血清培地 (出願中) など」を有しており、これらの技術をもとに医療機関における再生医療支援を展開するとともに、コーディネート事業として、再生医療に用いる培養細胞等を製造する施設とそれを利用したい医療機関などを橋渡しする事業を主に行っています。

RGS の矢永社長「医療法人 Yanaga CLinic、形成外科、院長兼務」は、米国ハーバード大学医学部 H. Green 細胞分子生物学研究所に留学以来、四半世紀を超えて再生医療分野で臨床実績 (600 例以上) を積んでいます。また、同氏は、日本で初めてとなるクリニックと細胞培養研究所を連結した施設を作り、2001 年には世界で初めてヒトへの培養耳介軟骨の移植に成功し、その後 240 例の移植手術に成功しています。また、再生医療をご自身の生涯のミッションとして、その研究と技術を培い、臨床治療を実施してきており、その内容は培養表皮、培養軟骨、培養線維芽細胞、培養脂肪、多血小板血漿 (PRP) など多岐にわたります。同氏は、「これまでの再生医療は、企業の研究者が製品をつくり、それを医師が使用するというモデルが主でしたが、この場合では必ずしも根本的な治療に結びつかないケースが多々ありました。企業の研究者は実際の医療現場が分からず、一方、初めて使用する医師も再生医療製品をどのように臨床で使用したらよいか分からないことがあり、臨床応用のスピードが遅くなることが問題となっていました。RGS の事業デザインは、これまで日本になかった再生医療の細胞加工施設と医療機関の橋渡しを担うことにより、これらの問題を解決することを目指します。」と述べています。

一方、新日本科学は、RGS に対して総合コンサルティング「安全性試験、海外展開、知財管理、経営支援など」のサービスを提供することになります。新日本科学 社長の永田は、「当社の得意とする安全性を担保しながら臨床での有効性を調べていくノウハウや法令遵守という観点から、RGS の事業を全面的にサポートしていくことで、これまでに矢永先生が培ってきた卓越した技術や豊富な知識を多くの患者さんに広く安全に利用してもらうことを願っています。」と述べています。

なお、本件が新日本科学の今期業績に及ぼす影響は、現時点では軽微であると見込んでいます。

以 上